

# 大型ハコモノは聖域、福祉・教育切捨ては困ります

桜町再開発 300 億円、合併特例区 1 億円・新市計画 83 億円の大盤振る舞い

**大型開発** 桜町再開発・大会議場整備 300 億円、産業文化会館解体・広場整備 20 億円と、中心市街地の大型再開発等には大盤振舞いです。

**合併特例区協議会報酬** 合併のゆがみとして続いている合併特例区協議会の区長（前町長）・協議会委員（前議員）報酬に年間約 9,500 万円が払われます。（富合特例区は 9 月まで）

- ・区長報酬 年約 1,000 万円
- ・協議会委員報酬

年約 300 万円（月額 186,100 円）

## 置き去りにされる「暮らし・福祉・子育て、教育」

- ・生活保護ケースワーカーの嘱託職員雇用を継続します。非正規職員が、同じ業務につき、専門性も確保されません。
- ・特定健診・ガン検診の無料化見送り。
- ・学校給食費の値上げが、計画されています。

**合併新市計画事業** 植木・富合・城南の新市計画は、聖域的に 83 億円を投入します。（カッコ内は総事業費）

**【城南町】** 予算額 34 億 6,100 万円

スマートインターチェンジ 6 億円 (2.1 億円)

物産館建設 2 億 2800 万円 (2.5 億円)

スポーツセンター 8 億 700 万円 (2.1 億円)

**【植木町】** 34 億 2,000 万円

農産物の駅 1 億 9,300 万円 (5.3 億円)

スポーツ施設 8900 万円 (33.3 億円)

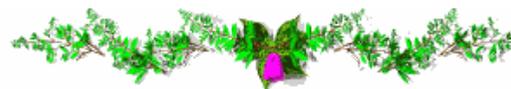
区画整理事業 11 億円 (64 億円)

**【富合町】** 14 億 5,000 万円 (道路・下水道他)

- ・35 人学級も拡充されず、小中学校へのエアコン設置も見送り。
- ・小中学校の体育館建設凍結、プール整備は設計費 1 カ所のみ。
- ・県下の自治体と比べても遅れている子ども医療費無料化制度は拡充されませんでした。
- ・認可外保育所への助成も拡充なし。

## サービス低下につながる民営化推進

- ・ごみ収集民間委託が、3 割から 5 割へ広がられます。
- ・「斎場」・「リサイクル情報プラザ」の指定管理者制度への移行
- ・総務事務の民間委託拡大。2012 年度から始められた旅費計算等に加え、給与支給・共済等に係る事務も外部委託となります。
- ・公立保育所の民間委託が進みます。大江保育園 (2013 年 4 月より合同保育) その後、梶尾・五丁保育園も民営の方向



3 月 8 日、午前 10 時～  
益田牧子議員の一般質問

## 傍聴にお出かけください！

(質問項目)

- 1、幸山市長の政治姿勢について  
憲法 9 条、原発ゼロ、公務員給与・生活保護引き下げ、TPP、立野ダム問題
- 2、産業文化会館再開、桜町再開発の大型会議場建設中止を
- 3、地域密着の公共事業の推進  
市営住宅改修、住宅リフォーム助成等
- 4、暮らし・福祉・教育の課題  
税金差し押さえ問題、孤独死・孤立死対策、介護、学校給食、エアコン、重度障害者医療、ガソリン券支給
- 5、政令市移行の課題と道州制

【控室から】

春はのじゆん

益田牧子

娘の長男が、この 4 月から、早いもので、小学校に入学します。さっそく、ランドセルを購入し、楽しみにしています。せむらの花もつぼみを膨らまし、寒さの中にも、季節の春は、着実にやってきました。

一方、政治の世界は、安倍政権の訪米による TPP 参加表明、年金・生活保護の切り下げ、自衛隊を国防軍にし、憲法 9 条の改悪…にめげそこのままです。しかし、この道に私たち国民の暮らしを良くする解決策はありません。先に開かれた、日本共産党の第 6 回中央委員会総会では、「反動的逆流を恐れず、正面から立ち向かい、日本社会の深部で蓄積されている変革のエネルギーに信頼をおき、未来への大局的な確信をもったたたかう」ことを呼びかけています。

あきらめないうで、私たちが、しっかりと地に足を付けて、「国民の苦難軽減」に取り組みたいと決意を新たにしています。産業文化会館再開を求める「初戦」である 3 月議会も始まりました。政治の春を一緒に

## 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
ますだ牧子 上野みえこ なすまだか  
熊本市手取本町 1-1 議会棟 3 階

No. 839

2013 年 3 月 3 日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



# 立野ダムと同じ形状の「穴あきダム」 島根県 益田川ダム の現地調査を行いました

2月15日、日本共産党市議団は松岡とおる県議とともに、島根県の益田川ダムの現地調査を行いました。

益田川ダムは、国交省が白川上流の立野峡谷に建設を進めようとしている立野ダムと同じ形状の穴あきダムです。

現地を視察するとともに、治水効果、流木等により穴がふさがることはないか、自然環境への影響などについて聞き取りを行いました。



## 自然環境・生物への影響は？

### 試験湛水時の枯れた樹木は戻らず…モニタリングも1回のみ



試験湛水時の水面～この面を境に、水没した範囲は枯れた樹木が目立ちました。

穴あきダムは、通常時、ダム下部の穴から水を自然流化させるため、環境への負荷が少ないと言われています。

しかし、建設の過程で、水が漏れていないかを確認するための試験湛水（穴のゲートを閉め、水を試験的に貯める）が行われ、ダム上流は数カ月におわり水没することになります。動植物などは大きな影響を受け、益田川ダムにおいても、水没した樹木は、再生されず枯れたままでした。

また、ダム建設後の環境モニタリング（影響調査）も1回しか行われておらず、特に貯水池の崖面に営巣する鳥類などへの影響調査は全くなされていませんでした。

## 流木などにより穴がふさがる危険

穴あきダムは、洪水時、流れてきた流木、岩石、土砂などが穴をふさぎ、治水効果が発揮できなくなる危険性が指摘されています。

益田川ダムでは放流口の上流に流木をとめる堰が作られていましたが、検証は模型実験などによるものでしかなく、実際に機能するのか、効果は不確定です。

通常、大規模な洪水時には山腹崩壊や土石流の発生を伴う

こともあり、大量の流木や岩石が流れ込むことが想定されます。一度穴がふさがれてしまえば、ダムはたちまち満水となり、治水機能は発揮されなくなります。



## 「立野ダム」も同じ危険！住民とともに検証を！

自然環境への影響や流木対策など益田川ダムに関わる様々な課題は、立野ダムにも共通するものです。住民とともに検証を行い、ダムによらない治水対策が求められます。

## 災害見舞金の拡充が提案されました

熊本市の災害見舞金は、政令指定都市20市のなかで、最も低い水準となっています。昨年7月の九州北部豪雨災害を受け、共産党市議団としても災害見舞金の拡充を求めてきました。今議会では、見舞金の拡充が提案されています。

しかし、昨年の水害被害者は対象となっておらず、引き続き議会で改善を求めていく決意です。

	災害弔慰金	災害見舞金			
	死亡	重傷者	全壊等	半壊等	床上浸水
現状	5万円	7000円	2万円	1万円	5000円
増額後	10万円	3万円	5万円	3万円	1万円